

◆国際交流パーティー「年末」

12月13日(土)水戸市近郊に住む外国人との交流の場として開催。外国文化紹介や、日本文化体験・ゲームなどを通して、楽しいひと時を過ごしました。



◆外国人のための日本料理教室

1月25日(日)のり巻き・肉じゃが・味噌汁・浅漬けの作り方を学びました。皆さん楽しくのり巻きを作りました。



◆外国人のためのスキー教室

2月20日(金)猪苗代スキー場でスキー教室を行いました。初体験の外国人も白銀の世界を満喫していました。



◆防災訓練&AED講習会

12月16日(火)外国人のための消防訓練を実施しました。避難誘導訓練、消火器・消火栓・避難器具降下訓練などを体験。またAED・心肺蘇生法講習も行い、参加者は真剣に取り組んでいました。



◆クラシック音楽でめぐる世界の街

2月5、12、19、26日(木)水戸芸術館学芸員の方々による音楽講座が開催されました。音楽を通して、ニューヨーク、ミラノ・ローマ、東京、プエノアイレスの歴史や文化について学びました。



◆初級日本語ボランティア養成講座

10月25日～2月21日(土)外国人に日本語を教えるボランティアを目指す方を対象に養成講座を開催しました。参加者はとても熱心に受講していました。

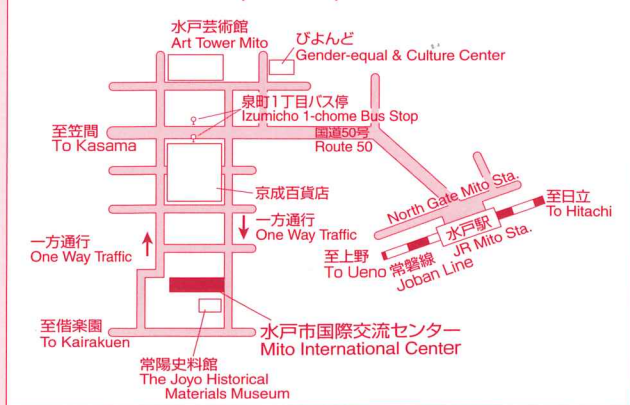


◇機関紙へのご意見や感想をお待ちしています。

開館時間：午前9時から午後9時まで  
休館日：月曜日、祝日

〒310-0024 水戸市備前町6-59  
水戸市国際交流センター内  
(財)水戸市国際交流協会  
Tel:029-221-1800 Fax:029-221-5793  
http://www.mitoic.or.jp/  
E-mail:mcia@mito.ne.jp

水戸市国際交流センター案内図  
Area Map & Transportation Guide



# Mito City International Association

(財)水戸市国際交流協会機関紙  
第33号  
2009.3.

## 第5回友好交流都市重慶市親善訪問 及び中国文化・行政視察団派遣



2008年11月11日から17日までの7日間、加藤浩一水戸市長を団長、内藤丈男市議会副議長を副団長とした総勢26名の親善訪問団が、水戸市の友好交流都市である重慶市をはじめ、世界自然遺産「武陵源」を有する張家界市、オリンピックが開催された北京市を訪問してきました。

重慶市では、まず中心部から南へ約50kmに位置する綦江県を訪れ、農民版画院や綦江県実験幼稚園を視察しました。人民政府への表敬訪問では、加藤水戸市長と周重慶副市長との会談に引続き、2008年5月の四川大地震に対する募金の贈呈が行われました。また、重慶郵電大学の視察では学生との交流会を行い、市民間の友好親善を深めました。

【日程】

日次	月日(曜日)	地名	日程
1	11/11(火)	成田発、重慶着	空路、中国へ 綦江県を視察 ●歓迎会出席
2	11/12(水)	重慶	●綦江県実験幼稚園視察、園児と交流 ●綦江農民版画院視察 三峡博物館見学 重慶市人民政府への表敬訪問 歓迎夕食会出席
3	11/13(木)	重慶 張家界	「重慶郵電大学」視察、学生と交流 空路、長沙へ 長沙から陸路、張家界へ
4	11/14(金)	張家界	世界自然遺産「武陵源」見学 張家界国家森林公園 秀華山館(土家族の博物館)視察
5	11/15(土)	張家界 北京	空路、北京へ 市内見学 ●北京市計画展覽館 ●前門大通り(古い町並みを再現した商店街) ●雍和宮(チベット仏教の寺院群) ●国家水泳センター(水立方) ●国家体育場(鳥の巣)
6	11/16(日)	北京	
7	11/17(月)	北京発 成田着	空路、成田へ 成田到着、水戸市役所へ

# 留学体験記

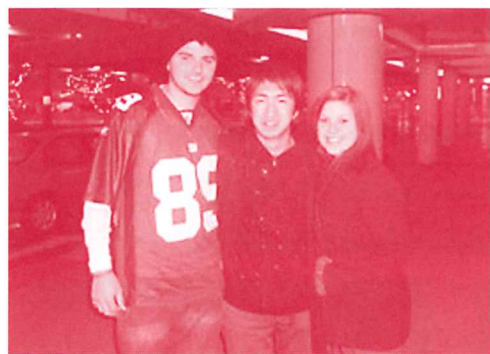
# CHANGE!

旅行会社、英語教師、外資系企業 —— 水戸市学生親善大使はアナハイム市での経験を活かして、様々なフィールドで活躍しています。今回は、ニューヨークに留学中の谷田部大貴さんにインタビューしました。留学して改めて実感する日米の文化の違いや、今感じていること、考えていることなどを語っていただきました。

## ◆プロフィール◆

や た べ ひ ろ き  
谷田部 大貴 (20歳)

2007年 茨城県立水戸商業高等学校 国際経済科卒業。  
2007年8月に渡米し、Herkimer County Community College(ハーキマー短期大学、ニューヨーク州)に入学。同校に在籍しながら、アメリカの4年制大学においてインテリアデザインの勉強をするため、現在受験勉強中。在アメリカ歴2年。



## — アメリカへの留学を決意した理由を聞かせてください。

将来インテリアデザインに携わる仕事をしたいと思い、日本の大学を見て回ったけれどあまりピンとこなくて、どうせやるなら本格的にやりたいと留学を決意しました。フランスやイタリアも考えていましたが、親善大使で行ったアメリカの寛大なイメージに惹かれ、ニューヨークだったら世界の最先端だし、東海岸にも住んでみたいという気持ちが強かったです。

## — 留学するまでに大変だったことは？

留学資金を貯めるためのバイトですかね(笑)。それから、両親が留学することに対して心配していたので、両親を説得することが大変でした。

## — アメリカ人や他国の留学生と交流するとき、自分で決めたポリシーやルールなどは持ってる？

特にこれと言う程ではないですが、他国の文化を変だなど思っても決して口に出したり差別しないで、理解しようと努めることですかね。例えば、あなたの国と日本の歴史は昔こうだったとか、中国と香港の問題に立ち入って聞いたりしないなど、歴史的な知識を頭に入れ、最低限のマナーを守って接しないと大変なことになるので、それは常に心掛けています。

## — 留学してアメリカで何か新しい発見はあった？

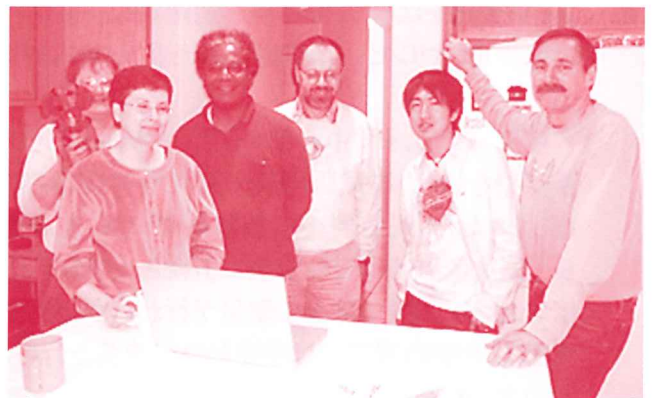
アメリカはとにかく何もかもが大きい。愛国心が強くて、みんな自分に自信がある(笑)。初対面の人とでも以前から知っていたかのように気さくに話をするし、自分の意見をちゃんと持って話している。分からないことがあれば分からないときちゃんと伝えてきますよ。でも、あれだけの多民族国家なのに案外、自国出身の人たちだけで集まっていることが多いのは意外でした。

それから、学校の授業に関しては、みんなすごく真剣なんです。授業中に寝てしまうなんてことは、ありえない。それどころか、疑問や質問、意見などがあれば、先生の話や中絶してまで発言するんですよ。積極的というか意欲的というか、日本ではあまり見ない光景ですよ。

## — 異文化に接する事で、日本に対する考え方は変わった？

変わりましたね。日本はあまり移民を受け入れない国だから、日常生活の中で常に外国人と接する環境ではないですよ。だから、日本にいた時は、他の民族について考えるということがなかった。日本はどうしても閉鎖的な雰囲気ですよ。だからアメリカ人が持つ、オープンでフレンドリー、知らない相手でも思いやる気持ちは日本人が見習うべきアメリカの良い所かなって思いました。でも日本に一時帰国した時に、自分の周りが日本人・日本語ばかりで、何だか安心感があって、それも日本の魅力というか、自分のアイデンティティを再確認しました。

それから、こちらの人は愛情表現がストレートですね。しかもそれを恥ずかしがらずにオープンに表現できるのって、日本人にはなかなかできないことですね。



## — 留学してからこれまで「おれ頑張ってるな～」と自分で感じることは？

友だち作りには、常に積極的にいくことを心掛けています。僕はアメリカ人だけに限らず、いろいろな国の友だちは多いです。正直な話、留学生の中には、せっかくアメリカに留学しているのに、自国出身の人ばかりと友だち付き合いをしている人もいますが、僕は自分の友だちの幅を広げ、お互いが様々なことを吸収し合えるよう頑張っています。

## — 未来の水戸市学生親善大使や長期留学を考えている方々にメッセージ&アドバイスをお願いします。

アメリカは“来るもの拒まず、去るもの追わず”の国です。やりたいことがあるのなら、好きなように出来るのが大きな魅力だと思います。その自由な所が多い分、義務や自己責任は大きくなりますが、それに勝る糧を手に入れることも可能です。それは日本では得ることのできないアメリカならではの醍醐味だと思います。



## 1日のスケジュール

### 【平日(月曜～金曜)】

- 7:00 起床
- 8:00-12:20 授業
- 12:30 カフェテリアで友人と昼食
- 13:15-17:00 授業
- 17:00-22:00 図書館で勉強
- 22:30-23:30 夕飯
- 24:00-27:00 予習・復習、課題の見直し
- 27:00 就寝

テストがある時は、3日間連続で徹夜することもあります。



### 【休日】

- 11:00 起床
- 12:00-18:00 趣味の時間。ギターを弾いたり、絵を描いたり、本を読んだり。一週間分の食料の買い出しに行きます。
- 18:00-21:00 図書館で課題に取り組む。
- 21:00-22:00 夕飯
- 23:00 就寝



## 事業報告

### ◆世界の文化と料理—ベトナム・韓国編—

10月25日、11月1、8、15日(土) ベトナムと韓国の言語・歴史・習慣・子育て環境の違いなどを学び、各国の料理を体験しました。



### ◆青少年のための国際理解講座

10月11日(土) 英会話講師のサマンサ・ジャクソンさんを迎え、アメリカの最新情報や文化、習慣の違いについて、市内の中学生・高校生が学びました。



### ◆親と子の国際講座 —世界がもし100人の村だったら—

11月29日(土)ワークショップを通して、世界中の子どもたちが豊かに暮らしていくために、自分たちにできることは何かを学びました。



来年度も様々な講座を用意し、皆様のご参加をお待ちしています。  
☆受講者募集は、そのつど「広報みと」・当協会HP等にてお知らせします。